

中間報告等において指摘された主な課題
 (科学技術、国際交流、文化、環境、県民生活、人材育成)

分野	課題
科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄科学技術大学院大学等を核とする知的クラスターの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの作成 ・スピンアウトベンチャー育成のための環境の整備（大学、ベンチャーキャピタル、ビジネスの法的な面をサポートするインフラ等の整備） ○国内外からの頭脳人材の戦略的な誘致（滞在、医療、教育環境の整備等） ○沖縄が世界でトップ3に入れる分野への集中投資 ○科学技術人材の育成（子どもの理科教育の強化、最新の科学技術等と触れ合う機会の確保）
国際交流・協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○アジア・太平洋地域との国際交流拠点の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな人材育成（ウチナンチュネットワークの一層の活用、教育交流の充実） ・アジア・太平洋地域の共通課題（環境・エネルギー、水資源、海洋、離島等）に対する国際貢献・協力（情報発信、技術移転等）
文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な文化から新たな文化を創出（マネジメントできる人材の育成等） ○観光資源としての文化・芸能の活用（効果的な情報発信、観光客のニーズとのすり合わせ）
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の保全と地域活性化の両立（環境との共生に配慮した持続的な観光振興など） ○低炭素島しょ社会の構築（バイオ燃料の製造・活用等、環境・エネルギー分野での先進的な技術開発、事業化支援を通じた環境関連産業の育成） ○自然環境の保全と再生（行政と民間との連携・協働の促進、環境教育の充実）
県民生活	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄の特性を踏まえた保育環境の整備の総合的な推進 ○保健医療体制の充実（圏域や診療科における医師の偏在の解消等） ○不発弾対策の着実な推進
多様な人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄のリーディング産業を支える人材やグローバルな人材の育成 ○理科教育、科学教育の重点的な強化